

## ごあいさつ



平素は、格別のお引き立てを賜り誠にありがとうございます。

今年も当金庫の経営方針や業務内容、業績の推移などを広く皆様にご理解いただくために、この「はなしんレポート 2019」を作成しましたので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

平成30年度の国内経済は、総じて緩やかな回復基調が続いておりましたが、大規模な自然災害が相次いだことなどから、一時的に経済にも影響が生じる展開となりました。年末には、米中貿易摩擦の激化を受けてマーケットは一時的に波乱含みとなりましたが、大企業を中心とした設備投資や個人消費は底堅く推移しております。しかし、わが国の人口減少や少子高齢化が加速する中で、国内消費にこれまで以上の盛り上がりを期待することは難しく、海外におきましては、欧州・中国経済の減速、英国のEU離脱問題の動向、さらに米中の貿易摩擦の激化などによる海外経済の悪化と、それに伴うわが国の輸出や企業収益への悪影響が懸念されるなど不安材料も多く、先行き経済の不透明感が漂っている状況にあります。一方で、地域経済は、人手不足が顕在化しており、費用負担の増加により収益向上に課題を抱えている企業も多く、経営者は引き続き難しい舵取りを行っている状況であります。しかし、いわて花巻空港への台湾、上海定期便の就航によりインバウンド客は増加しているほか、東北横断自動車道花巻―釜石間の全線開通により、内陸と沿岸を結ぶ横軸が繋がることによる交流人口の拡大や、隣接する地域への工場建設等による勤労者の増員は、当地域にも事務所や住宅の需要を押し上げる要因となっているなど、当地域の活性化につながることを期待されます。

こうした状況のなか、当金庫は、「はなしん『共創力』発揮3か年計画～地域と共に未来へ歩み続ける協同組織金融機関を目指して～」を平成30年度にスタートさせ、信用金庫の原点である「相互扶助」の精神のもと、当金庫の経営理念「地域経済の健全な発展と豊かな暮らしの実現」に基づき、当金庫がお客様と共に豊かな地域の未来を創り上げていくために、信用金庫としての独自性・特性や強みを発揮し、これまで行ってきた取組みを深めて発展（深化×進化）させ、地域金融機関として強固な経営基盤と確固たる地歩を確立するよう取り組んでまいりました。その結果、後掲の通りの業績を収めることができましたことは、会員の皆様を始め、お取引先各位の格別なお引き立てとご理解の賜であり、厚くお礼申し上げます。

当金庫におきまして、今年度は3か年計画の中心年度にあたります。昭和24年の創業以来、信用金庫の理念である「中小企業の健全な発展」、「豊かな国民生活の実現」、「地域社会繁栄への奉仕」の3つのビジョンを踏まえ、地域社会の発展と共に歩み、お客様の発展によって花巻信用金庫が存在しております。当金庫が創立70周年という記念すべきときを迎え、今後も地域やお客様から必要とされ続ける金融機関を目指してまいりますので、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年 7月 花巻信用金庫

理事長 漆 沢 俊 明